

# ほげんだより

2012年10月30日 No.8

春江小学校  
校長 小林 勝人  
養護教諭 小澤 弘美

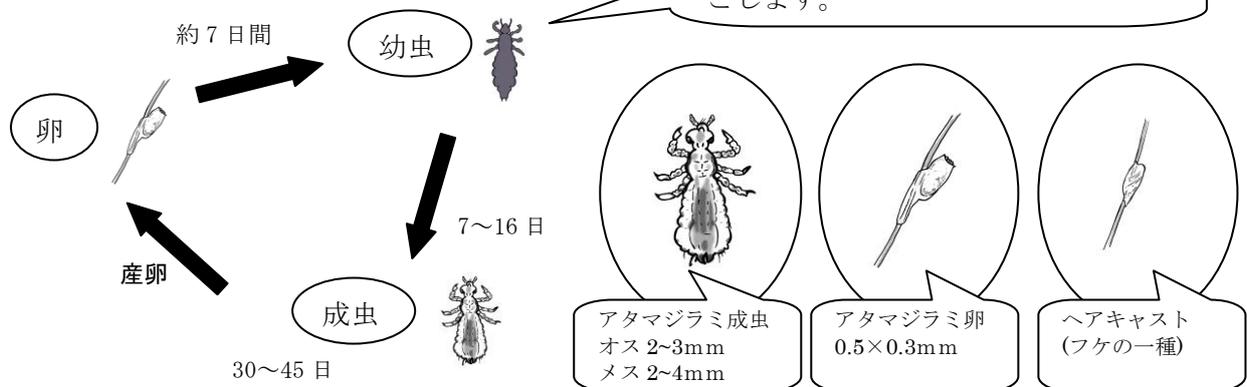
木々の葉も色づき、深まる秋を実感する季節になりました。  
昼間の暖かさに比べて、朝夕は気温も下がり、肌寒さを感じます。  
気温の変化により、発熱やかぜをひいてお休みをする人や、喉の痛みを訴えてくる人が増えてきました。空気も乾燥してきていますので、水分補給やうがいの励行など、かぜの予防に努めましょう。



## ～アタマジラミに注意！！～

各学校でアタマジラミの報告が届いています。アタマジラミは、衛生状態に関係なく、年間を通してあちこちで集団的に発生しています。アタマジラミは、卵の付着状況で判断しますが、特に、後頭部や耳の後ろ側の根元付近に見られることが多いようです。また、卵とよく間違えられるヘアキャスト（フケの一種）というものがあり、注意が必要です。保健所から配布されました感染防止のパンフレットを記載いたしますので、お読みの上、感染防止にご協力をお願いいたします。

### アタマジラミってどんな虫？



幼虫・成虫ともに吸血し、吸血しないと2日間程度で餓死します。

### アタマジラミの駆除法

★医療機関を受診するか市販されている駆除剤（シャンプー）を使用して、取り除きます。

★毎日しっかりシャンプーし、よく洗い流します。その後に、専用のスキグシで髪をすくことにより、卵、殻、幼虫、成虫を取り除きます。

★洗髪後は、ドライヤーをかけてしっかり髪を乾かすことが大事です。



### ＜家庭での注意点＞

- 毎日洗髪する。小さい子は大人が洗ってあげましょう。
- 髪はできるだけ短くする。卵の付いた髪の毛は1本ずつ切り取る。
- マクラカバー・シーツ・タオル・下着類を毎日取り替え、洗濯する。
- ふとん、マクラなどの寝具は天気の良い日に干し、掃除機をかける。
- クシ、ブラシ、タオル、帽子など直接頭や体にふれるものの共用は避ける。

